

ときめき人

Tokimeki bito

自然と文化に魅せられ異郷の地で活動。人と自然に寄り添い、米川に恩返し。



東和町・米川9区

浦田 紗智さん

うらた・さち
昭和56年生まれ 血液型/A型

Profile

東京都出身。関西の大学へ進学後、自然環境と伝統文化を守りたいと宮城県で活動。2013年7月から、本市の地域おこし協力隊員として東和町米川で活動している。趣味は、自然の中に身を置くことや能（観世流）を舞うこと。

「地元の人たちは、田舎には何もないって言うかも知れない。でも田舎ほど豊かところはない」と語る浦田さん。

大学時代、生物学を専攻。無人島や原生林などにも足を運び、環境保全にも興味を持っていた。豊かな自然環境と伝統文化を守りたいと、環境省のエコインストラクター養成事業の受講生となった。研修先は、栗原市のくりこま高原自然学校を選んだ。研修を含め2年弱スタッフとして在籍。2年間の田舎暮らしで、生まれ育った東京とはまったく別の常識があることを知った。「田舎は豊かで魅力的。山菜、畑、家畜やまきがあり、お金で買わなくても生きる糧がある。

その豊かさを、多くの都市住民に知ってもらいたいと思った」。

東日本大震災後、東和町米川地区で災害ボランティアとして活動。その縁もあって、同地区の地域おこし協力隊員となり、東京や関西から人を呼び、地域の魅力を知ってもらう活動をしている。「ボランティアをしていたとき、米川の皆さんには本当にお世話になった。今の活動が少しでも恩返しになれば」と日々の活動に力が入る。米川について浦田さんに尋ねた。「米川には環境、食や文化などたくさん地域の資源がある。その全てが魅力的。でも何にも変えがたい魅力的な資源は人」と最高の笑顔で答えてくれた。

編集後記

▼今号では、ときめき人の浦田さん、登米高野球部を取材。仕事や競技に向き合う姿勢に、自分も見習わねばと思った。この二組、さらに見習うべきところがある。周囲の人たちへの感謝の気持ちをお忘れな。他人に感謝できる人ってやっぱりすてきだ。(及川)

▼「男女共同参画」の特集で、女性消防士と男性保育士のお二人に取材しました。目を輝かせて笑顔で話す二人。仕事に対する熱い思いが感じられました。男女共同参画社会とは、性別に関係なく個性と能力を発揮する社会です。二人のように誰もが「自分らしく」輝ける社会になると素晴らしいですね。(佐藤)

▼広報をリニューアルし、今号で3回目の発行。全面カラーなので、写真撮影に気を付けています。特に注意しているのが、顔に影が映らないようにすること。角度を変えたり、場所を変えたりと四苦八苦。より良い広報を届けられるよう頑張ります。(田代)



モバイルとめ
(携帯電話版ホームページ)
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<http://tomecity.mail-dpt.jp/>